関東の妙見菩薩

http://www.ensenji.or.jp/myouken.html

妙見シリーズ1

埼玉・東京・群馬

平成22年6月現在までの調べ

真言宗智山派
梅松山 円泉寺　住職　諸井政昭
〒357-0014
埼玉県飯能市平松376番地
電話042-973-5716
Fax042-972-8834
http://www.ensenji.or.jp/

妙見堂・星宮神社など　１頁

桓武平家･平良文一族による妙見菩薩の移動　２頁

埼玉県飯能市の妙見菩薩　４頁

埼玉県･東京都･群馬県の妙見菩薩の所在地　７頁

※本・地図ソフト・電話帳ソフト・インターネットより集めた資料です。間違い、勘違い、古い資料(かつて祀っていた)、重複などが多々あると思います。ご了承下さい。

※間違いに気づきましたら、ご連絡いただければ幸甚です。

円泉寺住職 諸井政昭
〒357-0014
埼玉県飯能市平松376番地
電話042-973-5716
Fax042-972-8834

智＝真言宗智山派　豊＝真言宗豊山派　高＝高野山派　天＝天台宗　日＝日蓮宗　曹＝曹洞宗　臨＝臨済宗　など

妙見シリーズ１　関東の妙見菩薩　埼玉・東京・群馬
　妙見シリーズ１のメモは重複しますので、日本石仏協会談話室資料のみにしました。
妙見シリーズ２　関東の妙見菩薩茨城・栃木・千葉・神奈川
妙見シリーズ３　北海道・東北の妙見菩薩　付･妙見などの地名
妙見シリーズ４　中部・北陸地方の妙見菩薩　付･摩多羅神･摩多利神
妙見シリーズ５　近畿地方の妙見菩薩
妙見シリーズ６　中国･四国･九州の妙見菩薩
妙見シリーズ７　別冊 妙見菩薩･平将門関連
日本石仏協会談話室資料(妙見様の基本資料)

円泉寺ホームページ　http://www.ensenji.or.jp/
妙見菩薩関連　http://www.ensenji.or.jp/myouken.html

妙見堂・星宮神社など

【妙見菩薩・霊符神・北斗七星・天御中主神(元妙見菩薩)など】

以下の寺、神社等は、必ずしも妙見菩薩、天御中主神が祀られているとは限らない。ほかの神名(天香香背男･国常立神)などの場合もある。かつて妙見様だったのを隠している神社や妙見様として掲載して良いのか迷うところもあります。あるいは栃木県のように元虚空蔵菩薩の場合もあります(星宮神社は虚空蔵菩薩であっても掲載しています)。妙見菩薩だけでなく、他の神仏も天御中主神に変えられたところもあるようです。取りあえず調べられたものは、ほとんど載せました(写真のあるところは自ら行った所)。
多くは、地図の上、インターネット、本などで確認できたものです。手元に神社名鑑などがあれば、より確実と思われます。

ただし、あまり正確とはいえそうもありません。行ってみたらまるっきり違うお堂。妙見地蔵が妙徳地蔵。妙見寺が妙立寺。ご近所に聞いても誰も知らない。隣の町だった。そんな地名はない(小字か)。前にも来たところだった（本当の名称と通称)。近くの同じ名前の神社･寺に行っていた(地域によっては同じ名前の神社がいく社も集中しているところがある)。地図の表記自体が間違っていた。違うところを教えられた。かなり古い資料だった。勘違い。ホームページには、行けば明らかに嘘と分かる記載もある(ここもそうだなどと言われるかもしれない)。など。
これを見て、私と同じように残念がる人も出るでしょう。ひょっとすると何かのお店かもしれません。その時は平にご容赦願います。(※群馬県の妙見茶屋の酒まんじゅうはお薦めします。)

妙見シリーズ３では、地名・遺跡などをを載せています。妙見社・妙見寺の少ない地域でも、古くはかなり妙見様が祀られていたことを物語っているようです。
各地に出かけ、いくつも間違いを発見しています。自ら間違いを発信しているのかと思うと、つらいものがあります。定期的に訂正し掲載させていただいておりますが、間違いや掲載漏れがあれば、ご連絡いただければ幸甚です。

なお、星祭りに使用する星曼荼羅などの掛軸を持つ寺は、なんらかの文化財指定以外含めていない。と思う。
また、表記に統一性がありません。お許し下さい。

※平成の大合併のため、住所表示がかなり変わっています。重複して記載している場合もあると思います。
かなり古い住所表示もあるかもしれません。それでもかなり訂正したつもりです。

※段々増えて約１０００カ所を超えたあたりから、あとは数えていません。

資料

新編武蔵野風土記稿　新編相模風土記稿　埼玉の神社(埼玉県神社庁偏)　群馬県群馬町「妙見寺誌」
相馬地方の妙見信仰(千葉市立郷土博物館特別展図録)　日本の石仏№. 80(特集・妙見信仰と妙見菩薩)
将門伝説(村上春樹著＝平将門などを研究している神奈川県の元高校の先生だった。元千葉県立関宿城博物館客員研究員。)　日本石仏辞典(庚申懇話会編・雄山閣)　日本民俗学会報 130 号「備後三原地方の妙見信仰」(田地春江氏)　妙見探索ノート(沖本博著)
妙見祭祀状況(藤井永喜雄著)
妙見信仰の史的考察(中西用康著･妙見様を知る上で大変役に立ちます)
など
ゼンリン電子地図帳Ｚ(地図ソフト)　プロアトラス(地図ソフト)　電話帳図書館(ＤＶＤソフト)
以上電子ソフト
神奈備にようこそ　千葉一族　時評亭　日本神社　天文民俗学　ぶらりお寺散歩　など
以上インターネット

※兵庫県の日光院のホームページは読み応えがあります。　http://www.fureai-net.tv/myoukensan/

智＝真言宗智山派　豊＝真言宗豊山派　高＝高野山派　天＝天台宗　日＝日蓮宗　曹＝曹洞宗　臨＝臨済宗　など

桓武平家･平良文一族による妙見菩薩の移動

千学集抄によると、平 将 門（たいらのまさかど）、平 良 文（たいらのよしぶみ）を助けた童子姿の妙見菩薩が祀られていたのが群馬県高崎市引間町（元群馬町）の〔息災寺（現･妙見寺）〕。良文とその一族により→武蔵国平井（諸説あり。例･上野国であるが群馬県藤岡市西平井の三嶋神社（道順で考えればこちら）、東京都江戸川区平井など。）→埼玉県大里郡寄居町藤田〔宗像神社（旧･聖天宮）の説が有力〕→埼玉県秩父市〔妙見社（現秩父神社に合祀）〕→神奈川県藤沢市村岡→千葉県〔人見→上野→大友→大椎→千葉〔金剛授寺（現千葉神社、長保２年〈１０００〉）〕と移した。

特に金剛授寺からは、鎌倉期の桓武平家の一族の発展により、多くの妙見菩薩が各地に勧請された。千葉県下、近在はもちろん、東北・中部・近畿・中国・九州に及びます。福島県下には、平将門の子孫と言われる相馬氏の関係で、野馬追いで有名な相馬三妙見など、かなり多く見られます。

■妙見寺（元息災寺）　　天
群馬県高崎市引間町

※高崎市引間の妙見寺は神亀６年（729）に天白山妙見寺（大阪府南河内郡太子町春日）より勧請されたという説もある。

■三嶋神社
藤岡市平井

上杉顕定が伊豆の三嶋大社から分祀。
三嶋神社は上下二カ所ある。このあたりは山内上杉氏の平井城跡。山内上杉氏ゆかりの史跡が多い。

※「千葉伝考記」では、平良兼（粟飯原文次郎）が、息災寺から妙見菩薩を武蔵国平井にいた良文に付したとある。

■宗像神社（元聖天宮下社）
埼玉県大里郡寄居町藤田

極楽寺聖天宮　埼玉県大里郡寄居町藤田２４９　　豊山

中世に妙見菩薩が祀られていたという記録があるという。中世には七堂伽藍、六院の大寺だった。
宗像神社（旧聖天宮）が妙見の変化した姿と考えられているようだが、宗像神社は元々極楽寺の下社であった。六院の一つか？。
宗像神社というよりも極楽寺に祀られていたのかもしれない。

■廣見寺内・妙見堂　　埼玉県秩父市下宮地 25-29 秩父最初の禅寺　　曹　埼玉県の頁に記載
■秩父神社　368-0041　　埼玉県秩父市番場町 1-13　　埼玉県の頁に記載
■神奈川県藤沢市村岡（鎌倉とある）　　藤沢市渡内の二伝寺に平良文の墓
しかし熊谷市村岡（大里郡村岡郷）の説もある。

高雲寺　埼玉県熊谷市村岡　良文の館跡と言われる。遺構はない。
武蔵国村岡には、良文の子の平忠頼・忠通が住んでいた。
彼らは平氏惣領家の平繁盛（平貞盛の弟）の使節が大般若経を比叡山に送ろうとしたさい、村岡郷で追い返した。

今昔物語の良文と箕田（みだ、鴻巣市）の源宛（あつる・渡辺綱の父）との記載や子孫の動向から、地元びいきもあり熊谷説を採りたい。

村岡集会所の地に平良文を供養する観音堂があった。

村岡集会所　熊谷市村岡　高雲寺の近く。
　観音像はここに祀られている。

※茶臼塚板石塔婆がある。　集会所の敷地(南西)
　熊谷直国(直実の孫)の供養のための碑と言われている。
　熊谷市内で一番大きい板碑(高さ 331 ㎝)

※氷川八幡社　　埼玉県鴻巣市箕田(みた)(箕田源氏発祥の地)

　源仕(つこう)→宛(あつる)→綱(つな)(源頼光の四天王･渡辺綱)三代の屋敷跡が、ここの北側にあった。
　源宛は今昔物語で平良文との逸話が有名。綱は幼少にして両親を失い、従母の多田満仲の娘に引き取られ、摂津国渡辺の庄で養育され、渡辺姓を名乗るようになった。

別　源経基舘跡　　埼玉県鴻巣市　　鴻巣高校の南西側に隣接。

六尊王「経基」の碑と舘跡
　経基は清和源氏の祖
　　天慶の乱が無ければ、平家も源氏もただ　　の地方武士のまま終わっていたのでしょ　　う。

「鴻巣市城山ふるさとの森」になっている。

■人見神社　　千葉県君津市人見　　白雉元(650)年創建
　　千葉 6 妙見のひとつ。急な階段が 300 段以上続く。
■上野　　千葉県　四街道市上野か？。上野城跡がある。
　　四街道市上野には上野神社･妙見祠がある。
　　四街道市山科 828 の天御中主神社(妙見神社)は、
　　千葉神社の分身で金剛授寺の分霊を祀る？。近くには、薬師堂。
■妙見堂　　千葉県千葉市緑区大椎　大椎城址　現在は民家にあるようだ。
　　根古屋集落には妙見様を祭る祠をもつお宅が何軒かる。

千葉神社（元金剛授寺）　千葉県千葉市中央区院内 1-16-1

　特に金剛授寺からは、鎌倉期の桓武平家の一族の発展により、多くの妙見菩薩が各地に勧請された。千葉県下、近在はもちろん、東北・中部・近畿・中国・九州に及びます。福島県下には、平将門の子孫と言われる相馬氏の関係で、野馬追いで有名な相馬三妙見などがあり、かなり多くの妙見社があります。
　千葉県下は、妙見を祀る城跡が数多く見られる。

埼玉県飯能市の妙見菩薩

飯能市役所の郷土史の本がシリーズで出版され、各寺社の本尊、祭神なども詳しい。但し、維新の飯能戦争で中心地が焼かれてしまい資料が少ない。飯能市の赤沢・北川・南川・南・上名栗・下名栗などの吾野、原市場、名栗地区は元々秩父郡（ごおり）に属していた。秩父氏との関連があったと思われる。秩父七妙見は江戸時代。

円泉寺妙見堂　　357-0014　　埼玉県飯能市平松 376　　智

妙見堂

平将門配下の武将の子孫・綿貫家に伝わる妙見菩薩像を祀った。
現在は二代目の妙見菩薩像。
本堂に武蔵野七福神の内「福禄寿」を祀る。

円泉寺･北辰明見星文字塔　観音堂の前

神奈川県の某家より奉納
北辰明見星と同じ文字が三列彫られている。
この家は、江戸中期からあった。
名山（名山寿行）の刻字がある。
※妙見シリーズ２の最後を参照してください。

星宮神社　（旧 妙見社）　　飯能市赤沢 299-1

旧妙見寺持（修験）

妙見菩薩石仏　　埼玉県飯能市南川　花桐（あなきり）

喜多川神社（旧 星宮大神宮 又は、妙見宮）　　埼玉県飯能市北川 971　秩父七妙見の内

我野（あがの）神社　（旧 妙見社）　　埼玉県飯能市南 1151

源頼朝の造営と伝えられる。
飯能市では一番大きな妙見社。

通称・お地蔵様　　埼玉県飯能市南　雨乞い淵の岩穴
神明社（天御中主命を合祀）　　飯能市川寺 392
焼けてしまい今は再建されている。

見光寺　　357-0023　　埼玉県飯能市岩沢１０９２　　木造妙見菩薩立像　　曹

富士浅間神社内 妙見祠　　埼玉県飯能市上直竹下分 300

富士山と称する山の麓にある。

通称・お不動様

埼玉県飯能市上赤工久根　亀踏像

星宮神社（旧妙見社）

埼玉県飯能市上名栗小字宮
名栗の村社
神明・諏訪を合祀
秩父七妙見の内

※名栗村は平成１５年に飯能市と合併した。

洞雲寺妙見菩薩石仏

埼玉県飯能市(元名栗村)下名栗３６８　裏山　　曹

頭上に妙見の２文字あり。

妙見菩薩文字石塔

埼玉県飯能市(元名栗村)下名栗　湯基の山頂　大松閣の近く

※飯能市の妙見菩薩
　武蔵国秩父郡
　　寺＝１(今はない)
　　神社＝３　石仏＝３
　武蔵国高麗郡
　　寺＝２　神社＝３　石仏＝１

埼玉県

秩父神社　　368-0041　　埼玉県秩父市番場町 1-13

１２月３日の秩父夜祭りが有名。

江戸期の妙見菩薩お姿

秩父七妙見

秩父郡の総鎮守である秩父妙見の分社を郡境の交通の要所七ヶ所に攘災の守り神として配置(江戸末期)したのが秩父七妙見社であり「秩父志」に記載されている。

小鹿野町藤倉	所在が明らかでない。
皆野町金沢	今はない。
長瀞町矢那瀬	末野神社(寄居町末野)に合祀になったと推測されている。
東秩父村安戸	身形神社
都幾川村大野	大野神社
飯能市上名栗	星宮神社
飯能市北川	喜多川神社

末野神社
※合祀の言い伝え、記載はないようだ。

平成１２年１１月７日　演題「秩父夜祭について」　秩父神社権禰宜　甲田豊治先生
於：秩父神社　　秩父神社氏子青年会主催　ホームページ資料より抜粋・加筆。

※別　今宮神社・八大龍王宮　　368-0043　埼玉県秩父市中町１６－１０

かつての聖護院直末の今宮坊。秩父神社のお田植え祭は、今宮神社の水分(みまくり)祭より始まる。武甲山から地中をくぐり湧き出す霊泉の池、八大龍王を祀る大きなけやきがある。

今宮神社での水分祭
４月４日　午前１０時３０分
今宮龍神祭
同　午後１時３０分頃より
秩父神社御田植祭の始まり(今宮神社に於いて)。

廣見寺内・妙見堂曹　　埼玉県秩父市下宮地 25-29　　秩父最初の禅寺

妙見堂
秩父妙見宮は、秩父神社に合祀される前はこの近くにあった。

慈眼寺　　368-0042　埼玉県秩父市東町２６－７

秩父札所１３番（曹）
札所開拓十三権者像の内
妙見菩薩像

御岳教秩父教会　　埼玉県秩父市中村町４－５－２１
両部神道(修験)の新しい教会。数多くの神仏が祀られているようだ。

妙見塚　　埼玉県秩父市中宮地　関根家の庭先の祠
12 月３日秩父夜祭の朝、宮地屋台の関係者は、この妙見塚を参拝した後、屋台の奉曳を行う。

妙見神社　　埼玉県秩父市大滝字栃本　栃本関所そば

昔大滝村は、各地区ごとに妙見社が
祀られていた。

諏訪神社　　秩父市(元大滝村)中津川字宮ノ平２６６
※新編武蔵野風土記稿には八幡・妙見を合祀するとある。現在は祀られていないようだ。
同じ埼玉県とは思われないほど遠い。中津川には、平将門の配下だった落人の幸島(さしま)家がある。

妙見神社　　埼玉県秩父市大滝字大達原（おおたはら）

高札場

竈三柱神社（かまどみはしら）　　埼玉県秩父市大滝字大血川（おおちがわ）６９６

※和田神社（旧妙見神社）の旧境内
地に移され、大滝村の村社になる。
合祀　本殿の少彦名命が妙見様

鬼鎮神社　　埼玉県秩父市大滝字寺井　寺井区集会所の北側。

福井神社と同じ社。左側が、鬼鎮神社。
鳥居の変額は、二社が並ぶ。

大久保妙見宮　　埼玉県秩父市大滝字大久保
福寿神社　　埼玉県秩父市大滝字麻生 妙見宮は神社の内陣に納められている。

麻生公民館の隣。

天保九年の『村差出明細帳古大滝村』によると、禅宗の寺が１０カ寺あり、鎮守として「妙見神祠　大達原、平将門八幡　同所、妙見宮　大輪、熊野宮　巣場、熊野宮　岡本、妙見宮　大久保、妙見宮　麻生、妙見宮　寺井、諏訪宮　神庭、諏訪宮　神塚、吉備宮　上中尾、妙見宮　栃本、熊野宮　同所、十二天　同所、両面権現　同所、八王子　同所、熊野宮　午房平」がある。

このほか、新大滝村には三宝荒神宮、三峰村には氷川宮、中津川村には金山官などがあった。

妙見社　　368-0101　秩父郡小鹿野町下小鹿野小字名倉 124　（名倉会館隣）

奈倉重家が永禄元年（1558）に、秩父妙見社（秩父神社）から勧請した。
「女歌舞伎」が伝わる。

間庭の祠　　埼玉県秩父市小鹿野町両神小森　間庭集会所の近く。

中には妙見宮、鬼神神社、八坂神社と地蔵尊が奉られている。
向かって右が妙見宮。

霊符尊碑　　埼玉県秩父市小鹿野町両神小森　間庭の祠の対岸･小森橋近く
（天保 12 年 1841）

妙見社　　埼玉県秩父郡皆野町国神５７７　樹齢７００年の大銀杏の下

国神の大イチョウと妙見宮の祠
古に知知父彦命の墳墓がり、銀杏は墓のほとりに植えられた木と伝えられている。東南東 150 ﾒｰﾄﾙの銀杏は知知父姫命のイチョウと伝えられている。

奥沢神社　　埼玉県秩父郡東秩父村奥沢 568

妙見神社

身形神社　　埼玉県秩父郡東秩父村安戸　　秩父七妙見の内

扁額には｢妙見宮｣とある。

三光神社　　埼玉県比企郡小川町木部

丹党の竹沢氏が創建と
伝えられる。

大野神社　　埼玉県比企郡ときがわ町（元都幾川村）大野 330-2

秩父七妙見の内

蓮花院　　埼玉県入間市春日町 2-9-1　　智

木像霊符神と両脇侍　江戸末期から明治時代の作

瑞泉院　　埼玉県入間市木蓮寺８７４　木製妙見菩薩座像　　元曹洞

金子十郎家忠の墓、金子一族の墓がある。金子氏は、桓武平氏･平良文の流れをくむ武蔵七党の村山党から派生した支族であり、武蔵国入間郡金子（現在の埼玉県入間市金子）を領した。

金子姓の発祥地といわれている。

事情により、寺院の存続は難しそうだ。

高倉寺　　埼玉県入間市高倉３-３-４　木製妙見菩薩座像　近代の作　　曹

重文の観音堂

星宮神社　　埼玉県入間郡毛呂山町下河原

新編武蔵野風土記に浅間社とあり。間違いらしい。

秩父平氏･宿谷氏の関連か？。

国渭地祇神社・北辰尊星石塔　　埼玉県坂戸市森戸６１６　　西大家駅向側　（森戸神社と隣接）

毛呂山町下河原の星宮神社は越辺川を挟んで対岸になる。

尊星は尊星王（天台系）か？。

八幡神社　　埼玉県草加市青柳６－５－７　（字妙見）

八幡と妙見の合殿で両尊像を祀る。

妙行寺　　338-0013　　埼玉県さいたま市中央区鈴谷 4-15-2　寺宝　　日

妙見菩薩像石仏　　埼玉県さいたま市　元浦和市旧家　埼玉新聞（1999 年 1 月 26 日掲載）

妙見寺　　埼玉県さいたま市　単立

宗派別寺院の検索リンクサイトにあったが、表示されなかった。

北辰神社　　埼玉県さいたま市岩槻区横根　近くに新妙見橋あり

横根上自治会館が隣にある。

北辰神社　　埼玉県さいたま市岩槻区横根（目白大学西隣）

南辻八幡神社境内社妙見社北辰社　　埼玉県さいたま市岩槻区大字南辻字鎧宮 68

向かって右が、北辰社
左が、妙見社

三野宮香取神社　　埼玉県越谷市三野宮

←妙見星神、筑波両大権現文字塔

力石→
江戸時代に、この地から日本一の力持ちが出た。
近所のおばあさんに持ち上げたらと言われたが、見ただけでやめた。

妙見石祠(二基)　　埼玉県越谷市三野宮の森田家　　妙見大菩薩、妙見宮と刻む。
妙見大菩薩石像　　埼玉県蓮田市馬込
妙見社　　埼玉県蓮田市江ヶ崎
八幡社・北辰北斗星之宮碑　　埼玉県春日部

宝蔵寺妙見堂　　埼玉県蕨市錦町５丁目１３－２２　　日

日本歴史地名大系に、宝蔵寺には、鬼子母神堂・妙見堂・石神宮があるとあるとあったが、ないようだ。昔の話しか。

観音寺　　埼玉県戸田市新曽１７９１　　智山

元御住職･御嶽隆道師は総本山智積院の化主猊下。

千勝神社妙見宮　　埼玉県久喜市吉羽一丁目　　1841 年建立

松永神社　　埼玉県北葛飾郡栗橋町松永 345　1914 年に星宮明神から改称
昔は武州葛飾郡北川邊領松永村

妙見山上原寺　　埼玉県北葛飾郡杉戸町鷲巣４２７　　日

篠津妙見星神　　埼玉県南埼玉郡白岡町篠津　上宿会館南南西約 100 ﾒｰﾄﾙ

妙心寺教会　361-0035　埼玉県行田市堤根 1262　日

石田堤

石田三成によって忍城（北条方の成田氏）を水攻めにした石田堤に接している。

高城神社境内星宮神社　埼玉県熊谷市宮町 2-93　延喜式式内社

星宮神社（祠）の右隣に熊谷の地名を産んだ熊野神社がある。

出雲乃伊波比神社境内社・妙見社　埼玉県大里郡寄居町赤浜 723

※別　鉢形城跡　埼玉県大里郡寄居町鉢形　鉢形城歴史館（鉢形 2496-2）

文明 8 年（1476）年に山内上杉氏の家臣・長尾景春が築上。後に藤田康邦に入婿した北条氏邦が整備拡張した。

豊臣秀吉の小田原攻めに際し、天正 18 年（1590）前田利家･上杉景勝等に包囲され、一ヶ月に及ぶ籠城後、北条氏邦は城兵の助命を条件に開城した。

甲子大黒天石灯籠　埼玉県富士見市水子字北側

天和元（1681）年の造立の「石灯籠に北斗星・妙見霊神と彫られている。日本最古の子待塔（ねまちとう）
他にも甲子大黒天、大王寺（と思う？）等の文字が見える。

大應寺（水子）　智

※富士見市立水子貝塚資料館　　埼玉県富士見市水子 2003-1

水子貝塚資料館の道を挟んで向かいが大応寺。
駐車場からこの道を 150 ﾒｰﾄﾙほど北に行くと右手に甲子大黒天の石碑がある。

八幡神社　　埼玉県富士見市下南畑 1148　　六祭神の内・北極星

新田の無格社「妙見社」を本殿に合祀
↓新田の妙見宮は現在もある

妙見宮　　埼玉県富士見市下南畑字前新田

冨士見有料道路入り口から、さいたま市方面に 200 ﾒｰﾄﾙ左側。前新田自治会館近く。
自治会館は、元寺院（曹洞宗？）のようだが、妙見様ご尊像は、日蓮宗系（能勢形）だった。
　このあたりに能勢の妙見信仰があったのだろうか。

※別　桓武平氏難波田（なばた）舘跡　　埼玉県富士見市下南畑　難波田氏の城跡

難波田城公園
　←難波田城資料館

画家･故難波田龍起（なんばたたつおき）（文化功労者）氏のルーツはここらしい。

信立寺　　350-1319　　埼玉県狭山市広瀬 3-5-1　　日

七面堂内、向かって左側に祀る。

白衣観音堂　　埼玉県志木市幸町４－８　久保白衣観音堂

←北辰太元尊文字塔
如意宝珠観星座→
上部に北斗七星の文字

妙見山池元院　　埼玉県鴻巣市加美２－７－７６　昭和２７年開山　　日

氷川神社・摂末社　　埼玉県桶川市川田谷 2082

大六天社、御嶽社、妙見社、白山社、稲荷社（三社）、八坂神社、天神社の合祀社

※中山道桶川宿一里塚跡　　埼玉県桶川市西１丁目　桶川市北１丁目歩道橋

桶川駅より中山道を北に向かい、最初の歩道橋の東側部分に一里塚があり、塚の上には杉が植えられ、根本には妙見様が祀られていた。

密厳院　　埼玉県吉川市高久 1-18-2　※市指定文化財　　智山系単立？
※等身大の妙見菩薩像を本堂に安置

※鎌倉権五郎景政の子孫、深井六郎二郎景孝の墓

榆山神社･知々夫神社　　366-0035　埼玉県深谷市原郷　　幡羅郡総鎮守

知々夫神社　→
通称　妙見様
弘化４年 11 月吉日
建立
正面
妙見星神の文字

幕末のころ木之本と根岸の境の妙見山古墳に勧請。もと木之本のＹ家が所有していた。

北辰閣　　366-0801　埼玉県深谷市上野台 2997-3　平成１０年建立　　新義真言

二柱大神社境内社合殿・明見山神社　　埼玉県深谷市榛沢新田 1003　二柱大神社は元聖天社

右から２番目が妙見山神社

※別　妙見市　　埼玉県深谷市　一年に一度、深谷市中心の商店街で行われる市。

※別　日枝神社　　埼玉県川越市上戸（うえど）字山王３１５

貞観年代（８６０年）の創立　桓武平家秩父氏の本流は河越氏となり今戸に館を構えた。
山王七社を北斗七星に関連づける山王神道の思想があり、河越氏はここを妙見としても信仰したという考えがある。
千代田区永田町の日枝神社は、河越氏の一族である江戸氏により、ここより勧請された。川越市小仙波の日枝神社ではない。
〔熊野那智大社の貞治元年（1362 年）の文書により明らか〕

上戸の河越館と時宗・常楽寺(左奥の竹林の前)
館はかなり広く、周りには一部土塁が残されている。東の端は入間川の河原にまで及んでいる。常楽寺は館の元持仏堂が発展したものと言われている。
館跡は国指定史跡河越館跡史跡公園になっている。

※別　養寿院　　350-0062　　埼玉県川越市元町２丁目１１－１　　河越氏の菩提寺

伝 河越太郎重頼の墓

重頼は鎌倉幕府設立に貢献した。源義経の正妻は重頼の娘(義経と共に衣川の館で亡くなった)。義経と頼朝の間が不仲になると重頼は謀殺され、所領は没収された。

養寿院の東側は、菓子屋横丁･蔵造りの町並･時の鐘など見所･味処がたくさんあり、 平日でも多くの人で賑わう。

連続テレビ小説「つばさ」の影響で更に増えた。外国人観光客も多い。以前の寂れようが嘘のようだ。

芋菓子、紫いもソフトクリームなどが美味しい。

※別　新日枝(いまひえ)神社(新日吉神宮)　605-0932　京都府京都市東山区妙法院前側町４５１－１

上戸の日枝神社はここより勧請された。
但し、新日吉神宮は何度か引っ越ししているようです。
真言宗智山派・総本山智積院の東隣。

※別　日枝神社　　東京都千代田区永田町２丁目１０－５

川越市上戸(うえど)の日枝神社から勧請された。太田道灌との関係は案内に書かれているが、上戸のとの関連は書かれていない。意識的に避けているようだ。

※別　日枝神社　　埼玉県川越市小仙波町１－４

喜多院の東側。
かつては永田町の日枝神社は、ここより勧請されたと言われていた。

※別　喜多院　350-0036　埼玉県川越市小仙波町１丁目２０－１　天

江戸時代に天海僧正（慈眼大師）が住職となり発展した。

※別　明見院　埼玉県川越市大字今福６７７　妙見様とは関係ない

東京都

よみうりランド　妙見堂　　206-8725　　東京都稲城市矢野口 4015-1　妙見菩薩像は重要文化財。
伊勢・間の山の天台宗常明寺に祀られていた。
日蓮聖人が立教開宗をされる直前、常明寺で一百日間沐浴参籠した折り、示現したと伝えられる。

妙見寺　天　　206-0804　　東京都稲城市百村 1588

妙見社

毎年 8 月 7 日に蛇より行事が行われる。

浄運寺妙見堂　　194-0013　　東京都町田市原町田６丁目２１－２８　　日

酉の市（妙見尊例祭）が行われている。

妙福寺　　195-0054　　東京都町田市三輪町 811　　日

妙見堂 朝日山　　東京都あきる野市草花２２１８
石段で山の頂上。立川国際入り口近く。日蓮宗系と思われる。

即清寺　　198-0064　　東京都青梅市柚木町１丁目４－１　　豊

妙見菩薩

薬師・妙見・不動の三面石像。妙見菩薩は龍に乗る。
薬師如来？

西分神社　　198-0044　　東京都青梅市西分町１丁目

旧妙見社・天御中主命として祀っている。旧宗徳寺持

※妙見山宗徳寺臨　　198-0044　　東京都青梅市西分町１丁目３３

東光院（平井 妙見宮）曹　　190-0182　　東京都西多摩郡日の出町平井 3963

１、７世紀に百済の豪族が祀った。５月３日が例大祭
２、東光院は、延長 9 年(931)に平氏の祖とされる平良文が居館を奉納し、境内にある「妙見宮」の摂待寺としたのが始まりとされてる。

總持寺妙見堂　　188-0011　　東京都西東京市田無町３丁目８－１　　智山

妙見堂

※関東三十六不動霊場

経塚の妙見大菩薩　　東京都西東京市(元保谷市)
１９９３年多摩石仏の会発行「新多摩石仏散歩」にあるが、今は不明。

福泉寺題目塔　202-0004　東京都西東京市下保谷３丁目１１－１７　日

正面に妙見大菩薩・右側面「大梵天王」・左側面「帝釈天王」と刻まれている。
元文元年（１７３６）

子之三島神社　東京都狛江市西野川１丁目１７

子之神社は北辰妙見を祀り文安五年（1448）の創立。千手院の境内にあった三島神社を子之権現社へ合祀

成田山傳法院　192-0075　東京都八王子市南新町 4　高野

宮内庁三の丸尚蔵館　　東京都千代田区千代田１－１　星曼荼羅

首塚よりすぐのところ。普段の休館日は毎週月曜日と金曜日。

三の丸尚蔵館　　バイカウツギ

さすが皇居はすばらしい。時間をかけて、ゆっくり散策してみてください。

神田神社(神田明神)　101-0021　東京都千代田区外神田２丁目１６－２

江戸の総鎮守
下総相馬家（現大阪市）に伝えられた妙見像
東側に銭形平次の記念碑が建つ。

※節分祭の人混み。
※湯島聖堂の道を挟んで北側。
※西側の道を北にまっすぐ 600 ﾒｰﾄﾙ行けば、湯島天神。

宝珠院妙見堂　105-0011　東京都港区芝公園４丁目８－５５　浄土

※別　金王八幡宮　150-0002　東京都渋谷区渋谷３丁目５－１２　秩父系平氏渋谷氏の鎮守

秩父妙見社を勧請したのが元。その後、宇佐八幡を迎える。
坂東平氏･渋谷氏の館跡。
渋谷一族発祥の地。

金王丸御影堂

妙見山法性寺（日）　130-0002　東京都墨田区業平 5-7-7（柳島妙見）

①葛飾北斎の画号であった｢北斎辰政｣（ときまさ）は、ここにちなんだものと言われている。
②近松門左衛門の碑が発見され、近松長門説が有力になった。宮原英一著｢近松門左衛門の謎｣が面白い。内容が豊富です。アマゾンで古書が売られています。
　宮原英一氏のホームページ
　ww2.enjoy.ne.jp/~eiichim/edo.htm

妙見山立石教会　　東京都葛飾区東立石４の４０の１３　　法華

妙法寺　　東京都葛飾区奥戸 8-1-17　　日

能勢妙見山別院　　130-0004　　東京都墨田区本所 4-6-14　　日

勝小吉が愛息麟太郎、のちの海舟のために水垢離をした所。

法華寺(駒形鬼子母神)　　130-0005　　東京都墨田区東駒形３－２３－９　　日

妙勝寺開山堂　　東京都江戸川区江戸川６－７　　日

開山堂に祀る。
千葉型の妙見菩薩。
中山法華経寺末の元中本寺。1307 年(徳治二年)妙見社の傍らに小堂を建てたのが始まり。緑が多く、とても落ち着くお寺です。

妙覚寺妙見堂　　東京都江戸川区一之江６－１９－１０　　日

明治に妙見島の本尊を移して祀ったと伝えられていた。昭和６１年に新たに尊像をつくり、御堂も建立した。

妙見神社　134-0084　　東京都江戸川区東葛西 3-17（妙見島）

千葉氏系

長勝寺　　足立区伊興 3-11-19　　日

※保木間氷川神社　　東京都足立区保木間 1-11-4　　かつての妙見神社→菅原神社→氷川神社

この地は千葉氏の陣屋跡。現在は祀られていない。

隣の北斗山宝積院は元別当

中曽根神社　　東京都足立区本木２丁目５

足立区一帯を支配していた千葉次郎勝胤が築城した中曽根城跡。

妙見宮　　東京都足立区谷在家３－６

佐野いこいの森　　東京都足立区佐野１丁目３１番　名主屋敷(佐野家)・妙見社

毎週水曜日・日曜日のみ開園　開園時間は午前 10 時から午後 5 時まで　駐車場なし

文禄二年（１５９３）千葉勝胤の子孫といわれる佐野新蔵胤信が開墾し子孫が代々名主を務めてきたことによる。

「東京知ったかぶり」より

※「東京知ったかぶり」　東京の地名の由来 東京２３区辞典
http://www.geocities.jp/pccwm336/
このホームページは大変役に立ちます。トータル１００万アクセスおめでとうございます。

※佐野家には入れない。

東京国立博物館　　東京都台東区上野公園 13-9

尊星王図像(鎌倉時代・13 世紀)　熾盛光如来像(鎌倉時代・14 世紀)　玄天上帝像(神田宗庭筆)

日本の美術『妙見菩薩と星曼荼羅』『中世の童子形』が 常に販売されています。

東京芸術大学大学美術館　　東京都台東区上野公園 12-8

北斗曼荼羅図　北辰帝王像　北辰帝王画像

長國寺　　111-0031　　東京都台東区千束 3-19-6　　法華本門

※神仏分離後に鷲神社共に浅草お酉様の祭礼を行っている。
　鷲妙見を祀る。

鷲神社　　111-0031　　東京都台東区千束３丁目１８－７

※浅草お酉様

※別　大鷲神社　　121-0061　　東京都足立区花畑７丁目１６－８

※鷲に乗った釈迦像が始まり。

法泉寺　　東京都台東区元浅草１丁目１４－３　　日

上聖寺　　東京都台東区谷中１丁目５－３　　日

本妙院妙見堂　　東京都台東区谷中 4-2-11　　日

現在妙見堂はないようだ。

妙見山本立寺　　東京都台東区谷中５の８の７　　日

乗蓮寺（東京大仏）妙見祠　　175-0092　　東京都板橋区赤塚５丁目２８－３　千葉氏　赤塚城二の丸跡　　浄土

妙見祠

妙見寺　日　　114-0024　　東京都北区西ケ原 2-9-5

星光山蓮華寺　　東京都中野区江古田１－６－４　　日

本堂に祀る。

法明寺鬼子母神堂　妙見社　　171-0032　　東京都豊島区雑司が谷 3-15-20　　日

雑司ヶ谷の鬼子母神
　お堂の裏に妙見社がある。

蓮華寺　　東京都豊島区駒込 7-2-14　　顕本法華
※別　本妙寺・千葉周作墓　　東京都豊島区西巣鴨 5-35-6

※別　玄武館道場跡の碑　　東京都千代田区東松下町　地下鉄岩戸町駅よりすぐ。

JR 秋葉原駅から約３分。
千桜小学校跡地の入口

盛泰寺　　東京都豊島区南池袋 2-20-　1　　日

御嶽神社･天御中主神石像　　東京都練馬区下石神井四丁目 34-9

造化三神（天之御中主神・高御産巣日神・神産巣日神）が富士塚の上に祀られている。

天御中主神の石像は初めて見た。
　お姿は亀に乗らない髪の長い髭のある妙見様。剣を下に向けて立つ。

常円寺　　東京都新宿区西新宿７－１２－５　　日

研究所の本尊

円福寺　　東京都新宿区横寺町 15　　日

明治維新に江戸城紅葉山にあった夜光鬼子母神･七面大明神･妙見菩薩を祀った。

醫光山安養寺聖天堂内　　162-0825　　東京都新宿区神楽坂６－２　　通称･神楽坂聖天　　天

早稲田大学図書館　169-8050　東京都新宿区西早稲田 1-6-1　太上玄霊北斗本命延生真経 1 帖

妙圓寺（白金妙見）　108-0071　東京都港区白金台３丁目１７－５　日

妙見堂

覚蔵寺　東京都杉並区下高井戸 3-4-7　日

照栄院妙見堂　146-0082　東京都大田区池上 1-31-10　※本門寺山内　日

妙見堂

加藤清正の娘、瑶林院が夫の紀伊太守頼宣の現世安穏後生善処のために納めた。

境内に池上七福神の福禄寿の祠がある。

本行寺　146-0082　東京都大田区池上２丁目１０－５　平成１５年・砂田清定氏作　日

日蓮上人入滅の池上宗仲屋敷跡

法養寺　146-0082　東京都大田区池上 1-19-25　日

厳定院　146-0082　東京都大田区池上 2-10-12　日

能勢妙見像（昭和初期）

本覚寺　145-0073　東京都大田区北嶺町 34-3　妙見大士坐像（寛文期）　日

妙福寺　145-0063　東京都大田区南千束 2-2-7　日

洗足池の端。勝海舟の墓がある。
境内は樹木が多く、散策する人が多い。
かなり立派な永代供養墓が建設中だった。
住職は、立正大学の教授。

長照寺　144-0044　東京都大田区本羽田 3-14-7　日

安詳寺　　146-0085　　東京都大田区久が原 4-4-10　妙見大士立像　　日

水神社　　東京都文京区関口２丁目１１　元妙見社　関口八幡の所持

神田上水の守護神
妙見様は、今は祀っていないようだ。

道を挟んで東側が関口芭蕉庵

※別　関口芭蕉庵　112-0014　東京都文京区関口２丁目１１－１７

芭蕉の住んだところを偲んで作られた庵

瀧泉寺(目黒不動)　　東京都目黒区下目黒３－２０－２６　星曼荼羅　　天

※青木昆陽の墓

常円寺妙見堂　　152-0023　東京都目黒区八雲１丁目２－１０　　日

妙見堂

妙見寺　　153-0053　　東京都目黒区五本木 2-28-17　　日

小山八幡神社（妙見八幡）(旧摩耶寺持)　142-0063　東京都品川区荏原 7-5-14

神仏分離により、妙見菩薩は
旧別当・摩耶寺に遷された。

摩耶寺　　東京都品川区荏原７丁目６－９　　日

葛原神社(旧妙見社)　　東京都品川区荏原 6-2-13

千葉氏系　鏑木家勧請

妙建山本立寺　　141-0022　　東京都品川区東五反田 3-6-17　　日

本堂に祀られている。能勢型の妙見菩薩。
柳家金語楼の墓がある。

海徳寺　　東京都品川区北品川 1-2-10　　日

大黒天･鬼子母神･淡島尊天･妙見菩薩･清正公･三宝荒神などの板木

※品川歴史館　　東京都品川区大井 6-11-1　上記海徳寺の板木が納められている。

大福生寺　　東京都品川区東大井 3-21-25　明治 14 年開山　　天

旗岡八幡神社（元妙見社・旧別当法蓮寺 ）　142-0064　東京都品川区旗の台 3-6-12

※法蓮寺　　東京都品川区旗の台 3 丁目 6-18　　日

妙見寺　　東京都大島町波浮港　　日

群馬県

※群馬県には、北辰霊符神塔が多いが、修験が大きく関与しているようだ。
石祠は、文字が読めなかったり、文字がないものが多い。記録にあっても分からなくなったものが多いと思われる。

妙見寺（元息災寺）　370-3517　　群馬県高崎市引間町 213　（元群馬町）　　天

※平良文は、ここより妙見菩薩を移す。
千葉氏などの妙見信仰の大本。
春祭　４月１２日　夏祭　７月２０日
※群馬県群馬町『妙見寺誌』
松田直弘・大山礼二著をぜひ一読してください。

←妙見社

※妙見茶屋本店（和菓子店）
群馬県高崎市引間町　159-1
群馬県内に支店がたくさんある。

※別　上野国分寺跡　　群馬県高崎市引間町　妙見寺から約 200 ﾒｰﾄﾙ

※　上野国分寺　　群馬県高崎市東国分寺

かなり寂れて、門柱を確認しなければ国分寺とは気がつかない。
歴代の住職の石塔は立派だ。

北斗七星尊石碑　　群馬県高崎市引間町　中宿の県道南の庚申塚
菅原社･北辰鎮宅霊符石碑　　群馬県高崎市上豊岡字引間　安政７年

引間公民館の中に菅原社がある。

慈眼院（白衣観音）　　群馬県高崎市石原町観音山　能勢形の妙見菩薩　　高野

諏訪神社･霊符神社石祠　　群馬県高崎市金古（元群馬町）

霊符神社石祠　明治 29 年 9 月

ここのように石祠に祭神が表示されているとありがたい。

少林山達磨寺 霊符堂　　群馬県高崎市鼻高町 296　　北向きに建立している。　黄檗

妙見寺　　370-1301　　群馬県高崎市新町 128-1　（元新町）　　日

大石神社入口・妙見※塔石祠　　群馬県高崎市（元群馬郡榛名町）上室田

天保４（１８３３）年

妙見宮石祠　　群馬県高崎市(元群馬郡榛名町)下室町

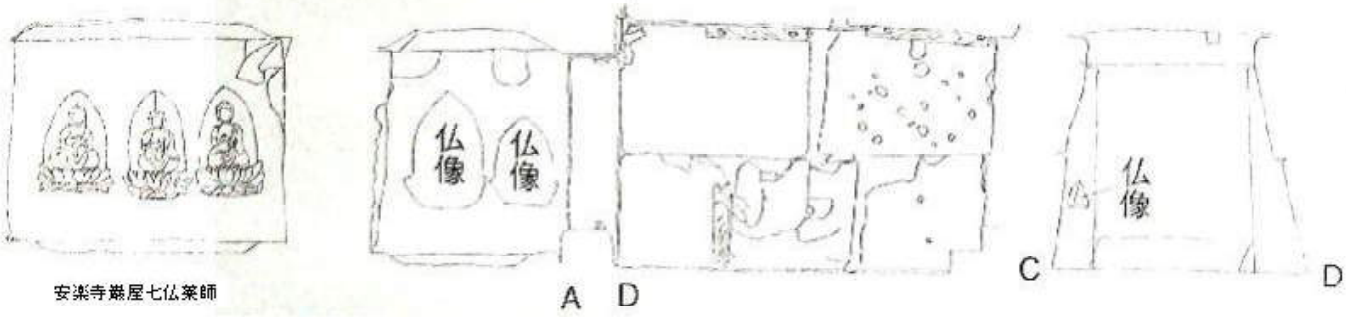
※別　榛名神社　　群馬県高崎市榛名山 延喜式内社。多くの建造物が残され参拝者も多い。

塩原太助の奉納した玉垣↑

※安楽寺巌屋七仏薬師　　群馬県高崎市倉賀野町 867 ※七仏薬師＝妙見の本地(台密)　　台

７世紀後半の古墳の石室の壁に仏像(七仏薬師・鎌倉時代)が７体彫られている。(実際には薬師･釈迦･阿弥陀ほか)

１２年に一度(巳年)ご開帳をし、一般檀信徒に公開している。



※諏訪神社~~境内妙見堂~~　　群馬県高崎市新町５５８　妙見堂はなかった。

以前他の目的でお参りしたときに見かけなかったのでおかしいと思いつつ行ってきました。やはり無い。某ホームページの記事は間違いが二度目です。この妙見シリーズにも間違いだらけと言われているのでしょう。

霊符尊神社　　群馬県前橋市二之宮町　　塚の上に石祠がある。

近くに用事があり、カーナビを見ると「霊符尊神社」とあった。

天保１３(１８４２)甲辰年３月吉日

霊符尊文字塔　　群馬県前橋市総社町桜が丘　　百庚申の中　　見つからなかった。

日枝神社　　群馬県前橋市惣社町総社　正面以外は文字
四角柱の塔の四面に絹笠、秋葉、北辰霊符尊、馬頭と刻む。

※日枝神社では「山王廃寺跡 」（放光寺）の塔心礎石・鴟尾・根巻石を見ることができる。

塔心礎

鴟尾・根巻石

某民家にある鴟尾

山の上碑（上野三碑の内・碑文の辛己歳は６８１年　群馬県高崎市山名町）には
　辛己歳集月三日記　佐野三家定賜健守命孫黒売刀自此　新川臣児斯多々弥足尼孫大児臣娶生児
　長利僧母為記定文也　放光寺僧
と彫られており、山の上古墳の墓誌といわれている。

※総社資料館 027-251-6241 371-0852　群馬県前橋市総社町総社１５００

　山王廃寺に行く前に、ここを訪れると総社古墳群の石棺、上野国分寺の瓦・放光寺銘瓦などいろいろな資料があり、多くの知識が得られます。
　資料館の山畑　賢（まさる）氏にはいろいろご教示いただくだけでなく、山王廃寺跡･桜が丘百庚申にもご案内していただきました。
　駐車場は、南西にあるＪＡの西側。

天龍寺霊符殿(妙見堂)　　群馬県藤岡市藤岡４６１　　霊符殿古墳の上　北向き　　日

天龍寺は江戸時代より上野の国
日蓮宗の触頭の寺格を持つ。

観音堂境内・妙見石祠　　群馬県渋川市(元勢多郡赤城村)赤城町長井小川田
引間の妙見を勧請したもの。

読める文字が少ない。

月待ち供養塔→

赤城神社・妙見石祠　　379-1103　　群馬県渋川市(元勢多郡赤城村)赤城町津久田３６３

霊符尊石祠

北 辰　霊 符尊神石碑　　群馬県渋川市(元勢多郡赤城村)赤城町津久田
村はずれの辻　文久四年建立甲

波宿禰(かわすくね)神社・北辰社　　群馬県渋川市川島 1287

北辰社

天御中主文字塔
明治１０年

北辰大神文字碑　　群馬県渋川市川島

甲波宿禰神社近く。上川島交差点そば。
碑は再建されたもののようだ。
地図確認のため車を止めて覗いてみたら、「北辰大神」とあった。

薬師堂・北辰鎮宅霊符尊石塔　　群馬県渋川市伊香保町　　北に向かって建立　　天

薬師堂(伊香保神社北側)　　薬師堂はかつて伊香保神社境内にあった。石塔は昭和３年建立
北斗七星には補星まで彫られている。
勝月堂の主人が管理している。ここの温泉まんじゅうは、うまい！。

※別　水澤寺・水神石仏(亀趺)　　群馬県渋川市伊香保町水沢２１４　水沢観音(坂東札所)

お水屋の水天像

水天像の石仏は東京２基、群馬１基だけだという。ここの水天は説明がないので妙見様と思う人もいるだろう。
三眼で五竜の天冠をつけ、右手に剣、左手に竜索を持つ。

七所神社　　群馬県渋川市(元北群馬郡小野上村)小野子

坂上田村麻呂に従い蝦夷と戦って功のあった小野金善の伝説がこの近在に残る。延暦４(785)年に早良親王に加担し流された(東村)小野金善が天御中主神を祀った。その後、他に六カ所に分神。七所神社は七カ所にある。北斗七星に習ったものとみられる。

※小野上村教育委員会看板より抜粋。

元々は北辰菩薩を祀ったらしい。
この当時に天御中主神を祀った神社があったのだろうか。

八幡宮・北斗星石祠(原家持)　　群馬県沼田市上川田町　　上川田保育園の道を挟んだ南側

石室部分正面に北斗星が彫られている。剣が付いた部分は破軍星。
愛知県春日井市内津の妙見寺の紋によく似ている。

通りすがりに発見。

元々は原アイ子さんの実家である大竹家のものであったが、嫁ぐときに土地と八幡宮を受けついた。大竹家はかなりの旧家のようだ。
※後日、日本石仏協会の会長･坂口和子様にお聞きしたところ、石祠とのことでした。

※別　下記には石室部分に双体道祖神が彫られている例。

小高諏訪神社・双体道祖神石祠？　　群馬県利根郡みなかみ町後閑

※これは笠付双体道祖神とのこと。
このあたりには、まだこのような例があるのだろうか。
偶然同じ日に、沼田市上川田町と二例出会えた。

※別　同じく双体道祖神。普通の唐破風付石仏よりも若干石祠に近い。

双体道祖神　　群馬県沼田市下村　道路の角　　安永５（１７７６）年１０月

下川田の砥石神社には、石室部分正面に三尺坊(秋葉三尺坊大権現)と文字が彫られている石祠があった。
かつて写したデジカメ画像を見ると文字や神仏像が彫られた例もかなり多いようだ。
※これも笠付双体道祖神
※埼玉県には双体道祖神は 64 体しかない。群馬県は石が豊富にあり、腕の良い石工がいたのであちこちに見られる。他の石仏･石祠も驚くほど数が多い。(坂口会長談)

早尾神社境内　　群馬県渋川市半田 1442-2

北に向いて建立
他にも北辰尊石祠があったようだ。気がつかなかった。
他に数多くの石祠 がある。

鎮宅霊符神石碑　　北辰霊符神石碑
慶応元(1865)年六月　明治三十年三月

瑜加山稲荷・妙見宮文字碑　　群馬県沼田市戸鹿野町

社？の中には祭神として石仏（何の仏様かは暗くて不明）が祀られていた。
廃仏毀釈の折に稲荷社に替えられたのだろうか。あるいは別の名称のお堂なのだろうか。ご近所の方には、ここと言われたのだが。
妙見宮碑は、慶応３年８月建立

伊勢山妙見堂　　群馬県甘楽郡下仁田町下仁田　　妙見山頂

諏訪神社内北辰碑　　群馬県多野郡神流町神ヶ原

文久元年建之

※別　瀬林の恐竜の足跡　ここの下の河原では、化石がとれる。

※野外探検学習施設
化石発見体験地

神流町神ヶ原瀬林

妙見寺　日　　370-0112　　群馬県伊勢崎市境西今井 318

本尊向かって左脇に童子形妙見菩薩座像を祀る。
その隣に小さな能勢形像も祀られている。

円満寺　高野　　376-0054　　群馬県桐生市西久方町 2-3-19（本尊虚空・脇妙見）

北辰殿

霊符尊神石塔　　群馬県桐生市川内町　笹久保山頂近く。
北西の山中に、きれいな北斗七星が描かれ、丸い穴のあいた石塔がある.
あるブログで写真発見。本当に丸い穴があいており、先がのぞけるようだ。

妙見宮　　群馬県桐生市　三峰山近くの尾根　脇に三峰山の石祠

覚成寺(霊符堂)　　群馬県みどり市大間々町上神梅１５２　　天

徳川家康の守り本尊と由来にある。
足尾からの銅山街道にある深沢宿はかつて大いに栄えた。

※別　雷電神社　　群馬県邑楽郡板倉町板倉２３３４

雷電神社は祭神に火雷神・大雷神・別雷神の三神をあてているが、明治初年には天之御中主神を配神祭として迎えている。

※別　宝福寺　　群馬県邑楽郡板倉町板倉 2406　　豊

歴史も古く、大寺であったようだ。
浄土真宗の祖･親鸞上人が建暦元年（1211)、恵信尼とともに常陸国へ行く途中に滞留した。
親鸞聖人の直弟･性信房の座像ある。

境内の大半は県立板倉高校の敷地となり、縮小された本堂、鐘楼と太子堂があるのみ。

富士塚･霊符尊三尊　　群馬県邑楽郡

浅間大神(木花開耶姫)･裏に大日如来の文字　　霊符尊三尊　　？など

※昔はお祭りが、かなり盛んだったそうです。

北斗宮石祠　　群馬県吾妻郡高山村

報徳折田神社　　群馬県吾妻郡中之条町折田 1170　諏訪と妙見が合併

北辰妙見霊符石祠　　群馬県利根郡片品村菅沼　　蚕の神様　菅沼の背戸山山中

今でも「駒の休み」の日にお神酒を供えに登る。

穴薬師古墳(霊符様古墳)　　群馬県北群馬郡榛東村山子田　　関谷塚古墳群

榛東村役場の北西 800m ほどのところ。柳沢寺より約 400m ぐらい。鉄塔が近くに見える墓地の一角にある。
石室にたくさんの小さな石仏。どれかは見当がつかない。

■平成 21 年 2 月 25 日　長年酷使された我が愛車も高崎市の妙見様を調べに行く途中、とうとう動かなくなりました。走行距離 10 万㎞を遙かに超えていました。今までありがとう。
貧乏人にとって新たな出費はきついのですが、新しい中古車？でがんばります。
JAF さん、群馬トヨペットさん、お世話になりました。

以下は群馬県群馬町『妙見寺誌』松田直弘・大山礼二著(あさお社刊)よりの抜粋。わかったところは、新地名を下に記入しました。ただし、地名が分割されて他の地名の場所もあります。写真があるのは、実際に行って確認できたところです。他は地図上では確認できませんでした。元の資料が明治 12 年のものですので、私が行った所も、ひょっとすると違う所だったかもしれません。

(現在群馬町は、高崎市と合併)

群馬県内の星を祀る神社

明治１２(1879)年『上野国神社明細帳』による。

独立神社

村社　星宮神社　南勢多郡下細井村字宮前　祭神・天之御中主神
(前橋市下細井町)

村社　星宮神社　南勢多郡西片貝村字寺西　祭神・天之御中主神
片貝神社(星の宮)　(前橋市東片貝町)　大塚古墳上に建てられている。

←片貝神社
(天御中主神社)

虚空蔵堂→
片貝神社の東側に並んで建っている。
西片貝町の円満寺境外仏堂

村社　小沢神社　北甘楽郡小沢村字日影　祭神・天香々背男命
(甘楽郡南牧村小沢)

小澤神社

村社　七社神社　西群馬郡小野子村字宮　祭神・天御中主神
渋川市(北群馬郡小野上村小野子)

七社神社
※前出

無格社　七社神社　西群馬郡小野子村字富士山　祭神・天御中主尊
無格社　七社神社　西群馬郡小野子村字三田野　祭神・天御中主尊
無格社　七社神社　西群馬郡小野子村字西之沢　祭神・天御中主尊

無格社　三社神社　利根郡上川田村字背戸田　祭神・天児屋根命、天御中主命、大山祇命
(沼田市上川田町)　どこか不明

無格社　星宮神社　邑楽郡田谷村字村下　祭神・天津甕星命
(館林市田谷町)　どこか不明

無格社　　戸野神社　　南甘楽郡生利村字戸野　　祭神・天之御中主命
（多野郡神流町生利）　　どこか不明

無格社　　造化神社　　北甘楽郡坂口村字原　　祭神・天御中主命
（高崎市吉井町坂口）

※坂口神社
　明治４５年頃、坂口の諸社を合祀したが、大正元年に村社・奥平神社に再び合祀された。昭和４５年に社殿を造営し、御祭神を奥平神社より遷御し、坂口神社とした。祭神として祀られているかは分からない。

無格社　　大星神社　　多胡郡馬庭村　　祭神・天御中主命
（高崎市吉井町馬庭）　飯玉神社

昭和４３年に飯玉神社に大星神社を合祀した。
裏に御久塚古墳があり、石室の中に何か祀られていた。
　※近くには馬庭念流（剣道）の道場がある。

※別　　隣の字の吉井町池には、有名な『多胡碑』がある。渡来人の上野国移入による多胡郡（和銅４年 711）設置と、律令国家による地方への支配が及んだことの証拠となっている。

　これを建てたのが渡来系の羊一族であろうと言われているが、元群馬町の妙見寺もそれら渡来系一族の氏寺として建立されたと見られているようだ。星信仰も渡来人により仏教･道教とともにもたらされ、この地にも伝わったのだろう。
　ここにある多胡記念館は、一度は行っていただきたい所です。
　高崎市には、ここより直線で約４km所に山上碑・金井沢碑がある。

●上毛三碑
　多胡碑・山上碑・金井沢碑

境内末社

無格社　八幡神社境内・甕星神社　南勢多郡真壁村字森山（渋川市北橘町真壁）集会所の裏　祭神・香々背男命

どれか不明

無格社　大山祇神社境内・甕星神社　南勢多郡真壁村味噌野（渋川市北橘町真壁味噌野）　祭神・香々背男命　噌＝ 噌

大山祇神社は見つからなかった。

村社　荒子神社境内・妙見神社　南勢多郡荒子村（前橋市荒子町）　祭神・天之香々勢男

どれか不明。
他にもあり。

某県で小学生が殺害されたあとなので、下校時に先生が付き添っていた。小学生に道を聞くのもはばかれる。

県社　赤城神社境内・星神社　南勢多郡三夜沢村　祭神・天之加々勢雄

不明　境内に多くの石祠が祀られている。

約３００の赤城神社の総本社

村社　八雲神社境内・妙見神社　南勢多郡室沢村字安通り（前橋市粕川町室沢）　祭神・天児屋根命

妙見宮石祠
天保三(1831)年十一月吉日建之

※境内に相撲の土俵があった。

村社　　近戸神社境内・妙見神社　　南多野郡月田村字近戸　　祭神・天之御中主命
（前橋市粕川町月田）

←妙見宮石祠

※石像六地蔵殿　→
暦応五年（1342）建立

※獅子舞が県の指定重要無形民俗文化財に指定されている。

無格社　　熊野神社境内・妙見神社　　南勢多郡長井小川田村上南雲　祭神・火明命
（渋川市赤城町長井小川田）
八幡宮、諏訪神社は並んであったが、熊野神社は不明。

村社　　赤城神社境内・星宮神社　　南勢多郡関根村　　祭神・天御中主命
（前橋市関根町）

どれか不明
他にもあり

村社　　神明宮境内・甕星神社　　南勢多郡上箱田村　　祭神・香々背男命
（渋川市北橘町上箱田）

霊符尊石祠
嘉永二（1849）年十月

村社　　赤城神社境内・星宮神社　　南勢多郡下南室村　　祭神・天之御中主命
（渋川市北橘町下南室）

どれか不明

村社　　八幡宮境内・天甕星神社　　南勢多郡上三原田村　　祭神・星賀々瀬男命
（渋川市赤城町上三原田）

どれか不明
他にもあり

すばらしい
狛犬だった。

村社　　神明宮境内・星宮神社　　南勢多郡上沖之郷　　祭神・天之御中主命
（前橋市上沖町）

不明

村社　　飯玉神社境内・星宮神社　　東群馬郡後閑村　　祭神・天香々背男
（後閑の地名は前橋市、高崎市、安中市、みなかみ町にある。）
前橋市後閑町の隣、広瀬町。後閑町飯玉神社と石柱にあった。

←北辰鎮宅霊符神社

北辰鎮宅霊符神
文字塔→
昭和 27 年 1 月建
舊 先達・塚田善六

村社　　宇芸神社境内・北斗神社　　北甘楽郡神成村赤城　　祭神・天御中主命
（富岡市神成）

不明　他にもあり

村社　　大宮神社境内・天香々背男神社　碓氷郡下後閑村字大宮　　祭神・天香々背男命
（安中市下後閑）

村社　　三嶋神社境内・星神社　　吾妻郡五町田村字三嶋森　　祭神・大己貴命
（吾妻郡東吾妻町五町田・元東村）

不明。

無格社　　八束脛神社境内・天御中主神社　利根郡後閑村字穴切　　祭神・天御中主命
（はつはぎじんじゃ）　　（利根郡みなかみ町後閑、元月夜野町）

石尊山のほぼ頂上の八束脛遺跡にある。神社以外は石仏も石祠も見あたらなかった。あるいは見落とし。あとで知ったが、頂上には石祠があるようだ。石尊大権現（大山阿夫利神社）ではないか。
※八束脛（やつかはぎ）
大和朝廷に服属しない原住民に名付けた呼称。
私立ＰＤＤ図書館より

※八束脛洞窟遺跡（はつはぎどうくついせき）

町指定史跡　八束脛洞窟遺跡

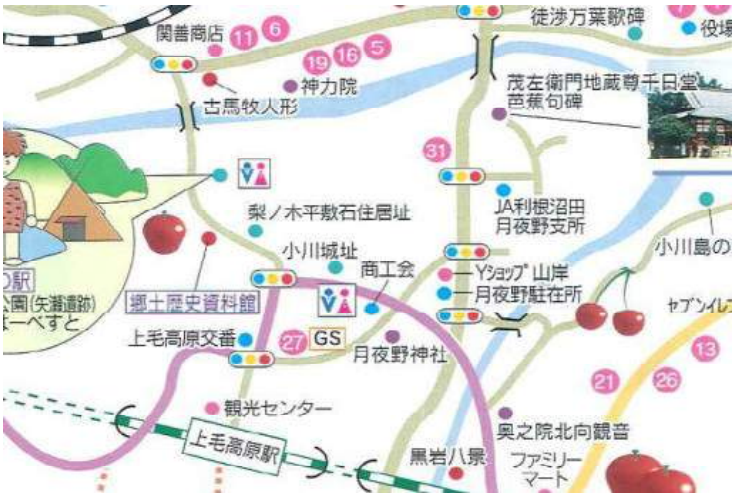
三峰山麓の石尊山には岩の露頭がそびえ立ち、その南西面には四ヶ所の岩陰（がんいん）が縦に並んでいる。ここには脛（すね）の長さが握拳（にぎりこぶし）八つ分もある大男がすんでいたという伝説があることから「八束脛洞窟遺跡」と呼ばれ、現在、神社を建てて祀られている。岩陰は下からＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ洞と名付けられ、Ｂ・Ｄ洞を主体に多量の人骨片等の遺物が出土している。人体は三十四体以上が確認されていて、すべてのものが焼けている。特に人の歯や指骨に孔（あな）をあけたペンダントが注目されている。また、故意に歯を抜く抜歯（ばっし）という儀礼があったことも確認されている。その他、土器片や碧玉（へきぎょく）の石器、当地では非常に珍しいオオツタノハやサルボウ等の貝で作った腕輪や牙製の玉、硬玉（こうぎょく）の管玉（くがたま）などが出土している。弥生時代中期前半の、火葬及び風葬による共同墓地と考えられている。

月夜野町教員委員会

数日前に行ったときは、雨が降っており、道を間違えて違う山中をうろつく失敗をした。無事帰れて良かった。今回は無事お参りができた。

※月夜野町郷土歴史資料館
群馬県みなかみ町月夜野 1814-1
日曜日のみ開館

八束脛洞窟遺跡の発掘品は、ここにある。



村社　　八幡宮境内・星神社　　利根郡下久屋村字前原　　祭神・香々背神命
（沼田市下久屋町）

どれか不明
他にもあり

無格社　　山妻有神社境内・星神社　　利根郡追具村字森山　　祭神・大国主命
大國神社　　（沼田市利根町追貝）

明治４３年に山妻有神社を含む神社を合祀した。社殿は昭和２０年に山妻有神社の本社を本宮とした。
石祠のどれかと思われる。

村社　　武尊神社境内・星ノ宮神社　　利根郡戸倉村字桜　　祭神・不詳
（利根郡片品村戸倉）

不明
鳥居の額は天満宮となっていた。

五重の庚申塔
貞享３年（1686）建立
上から四段目が青面金剛。五段が二猿。
二猿は日光との関係が深い。

北群馬郡榛東村山子田の柳沢寺（天台）にも五重の庚申塔がある。

村社　　大森神社境内・天御中主神社　　北勢多郡森下村字大森　　祭神・天御中主神
（利根郡昭和村森下）

不明　他にもあり

無格社　　神明宮境内・天御中主神社　　山田郡大間々町字雨沼　　祭神・天御中主命
（みどり市大間々町大間々２２４５　神明宮）

天御中主は祀られていないという。裏のはね瀧橋から見た渡良瀬川。

村社　　稲荷神社境内・天御中主神社　　山田郡天沼新田村字堀下　　祭神・天御中主命
（桐生市相生町）　天沼稲荷神社

明見大明神石祠

無格社　　賀茂神社境内・星宮神社　　邑楽郡海老瀬村字北　　祭神・三光天子
（邑楽郡板倉町海老瀬）

どれか不明

村社　　玉取神社境内・星宮神社　　邑楽郡秋妻村字上秋妻（邑楽郡邑楽町秋妻）　　祭神・天甕星命

どれか不明。他にも塚がある。

村社　　長良神社境内・霊符神社　　邑楽郡吉田村字本郷（邑楽郡大泉町吉田）　　祭神・天御中主命

鎮宅霊符尊文字塔

http://www.ensenji.or.jp/